

旧暦ってアシヤかな!

元ちゃんの

今年の天気 「秋」

旧暦:文月一日～長月廿九日 新暦:令和6年8月4日～令和6年10月31日

1. 元ちゃんの旧暦予想 「秋」

白虎 吠疾 (ビャッコノイツ) (台風に注意。秋入り若干早め)



新暦8月4日から秋が始まります。新暦9月半ばを過ぎた頃から、ようやく朝晩に秋の気配を感じるようになるでしょう。毎年のことですが台風にはご注意ください。中秋の名月(芋名月)は新暦9月17日、十三夜(栗名月)新暦10月15日。新暦10月の中旬過ぎれば晩秋を感じそうです。

『大文字や あふみの空も ただならね』(与謝蕪村)

(写真:旧暦文月十五日 網干メロン収穫<新暦8月18日>)

2. 今年の「秋」(以下の季節事象は、今年はすべて「冬」に観測されました)

季節事象	観測日(新暦)	観測日(旧暦)	平年差
富士山の初冠雪	(6.11.5)	(神無月五日)	(+28)
ススキの開花日	(6.11.7)	(神無月七日)	(+36)
木枯らし1号(東京地方)	(6.11.7)	(神無月七日)	(0)

平年差: +<遅い> -<早い>

【気象署の季節観測】

いやはや、とんでもない秋でしたね。暑いし、雨はひどいし… 新暦8月は、西日本を中心に太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったものの、中旬以降は台風7号、10号影響で、大荒れとなったほか、各地で線状降水帯が発生し、記録的な大雨となった所もありました。東日本太平洋側では1946年の統計開始以降、新暦8月として1位の多雨となったようです。新暦9月は、暖かい空気に覆われやすく、1946年の統計開始以降、東日本と西日本で1位の高温となりました。中旬から下旬にかけては秋雨前線の活動が活発化し、新暦20日は秋田県で、新暦21日は石川県で線状降水帯が発生するなど記録的な大雨となった所もありました。新暦10月は偏西風が平年より北に偏って流れたこと、日本の東で高気圧が強かったこと等から、日本付近には南から暖かい空気が流れ込みやすく、気温は全国的にかなり高くなり、これまた1946年の統計開始以降、北日本、東日本と西日本では新暦10月として1位の高温となったようです。残念ながら、新暦9月半ばを過ぎても秋の気配は感じられず、また新暦10月中旬以降も晩秋は感じなかったなあ～。台風注意だけは元ちゃん予想は的中!

3. 元ちゃんの「秋」



十五夜月
葉月十五日(6/9/17)



ようやく彼岸花開花
葉月廿一日(6/9/23)



十三夜月
長月十三日(6/10/15)



フジバカマにシジミチョウ
長月廿四日(6/10/26)

4. 元ちゃんの旧暦予想 「冬」 新暦 6.11.1～7.1.28

玄武 歩敏 (ケツブホツ) (豪雪注意。季節は駆け足で進む。)



冬の到来は早くなると予想します。年末頃より本格的な寒さが訪れるでしょう。年明けには一段寒さが増しそうです。そして豪雪注意の冬と予想します。冬は新暦2025年の1月後半まで続き、春の訪れを感じるのは新暦2月後半になってからでしょう。

『大雪と 成けり関の 戸ざしごろ』(与謝蕪村)